

湖誠会



〒520-8575 滋賀県大津市御陵町3番1号 TEL.077-528-2839 FAX.077-523-2020 URL▶ <https://otsu-koseikai.jp>



右より
葉竹草竹寺福
月内野内口田永
陽基聖照正英英
二地夫德幸品晶
議員議員議員議員
議員

幹事長
竹内 照夫

新春の候、市民の皆様におかれましては輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。平素は湖誠会に対しまして、温かいご支援とご厚情を賜り、心より感謝を申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、滋賀県で44年ぶりとなる「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ」が開催されました。全国から多くの方にお越しいただき、国スポでは滋賀県選手団が男女総合優勝を果たし、障スポでは金メダル87個、銀メダル53個、銅メダル34個を獲得し、過去最大の成績を収めるなど、たくさん感動を与えていただきました。

一方で、エネルギーや食料品などの物価高騰が市民生活へ影響を与えており、厳しい状況が長引いております。

そのような状況の中、昨年の11月通常会議においては、補正予算や条例改正など52議案を審査しました。補正予算では、各種福祉サービスの利用増加による関連経費の追加や、ご来庁いただく市民の皆様の利便性や、職員の職場環境の改善に向けた新庁舎整備に要する経費、学校給食事業における物価高騰に伴う賄い材料費の追加など、40億円余りについて可決いたしました。

今後も市民の皆様にとって暮らしやすい大津を目指すために柔軟に対応させて頂く所存でありますので、湖誠会と会派所属議員に対し、変わらぬご指導ご鞭撻を賜りまますようお願い申し上げ新年のご挨拶といたします。



ごあいさつ



湖誠会は、地域の皆様のお声を大切に大津の将来を創造します

① 福永英晶

私は、今の大津市を創ってこられた先輩方の思いを継承しつつ、皆様から様々なご意見を傾聴し、「人にやさしく、人を大切に、そして人の未来に寄与する」をモットーに、守破離の精神で本年も提言・提案して参ります。



大津市
MAP

⑤ 葉月陽

市民の命と暮らしを守る防災や子育て支援を進め、皆さんと一緒に「大津でよかつた」と胸を張れるまちを育てます。皆様の声をぜひ聞かせてください。その声を大切にし、笑顔あふれる強く優しい大津へ、一歩ずつ丁寧に取り組んでいきます。



② 草野聖地

子どもたちの声が響き、笑顔が広がることで地域が元気になります。夢があふれる大津を目指し、皆様と共にできることを考え、全力を尽くしてまいります。



③ 竹内照夫

【Otsu Re Born】
「優しい心」「厳しい心」「ときめく心」「豊かな心」を忘れず、「大津に心をとりもどしたい」と思います。

そして今年も、市民の皆様とともに、大津を生まれ変わらせるために全力を尽くしてまいります。



④ 竹内基二

円安等による物価高騰の中で苦労されている市民の皆様の暮らしを守り、中小企業施策を充実させます。災害時の避難所にもなる学校の長寿命化工事や歩道整備など交通事故や災害から市民を守るための事業に取り組みます。大津の若者が未来に希望を持てるような政策を奔馬の如く実現に邁進してまいります。



⑥ 寺田英幸

《私の今年の抱負は市政に繋がる「担い手」役として、【和敬清寂】に活動する。》
【和敬】⇒お互いに敬う
【清寂】⇒清らかさ。目に見えるだけでなく、心の中も清らかに。
・「夢があふれるまちづくり、人づくりを子どもから高齢者までに広げる」
・日々新。利他の心で尽くす



⑦ 川口正徳

まちづくりの主役は市民の皆様です。物価高騰で暮らしが厳しい中にもあっても、創意工夫の営みをされていることについて敬意を表するとともに、これからも市民の皆様が安心して暮らせるよう、負託を受けた者として、ご意見を真摯に傾聴し、賑わいある大津を目指して責務を果たして参ります。



11月通常会議一般質問

質問、答弁は一部抜粋です。詳しくは大津市議会ホームページをご覧ください。



竹内 基二 議員

新・琵琶湖文化館の活用について

Q 新しい琵琶湖文化館を大津市の観光振興にどのように活用するつもりか。また、ラーゴ大津と同様に周辺観光地とのつながりを生かして周遊を促進させる取組を完成までの間に是非とも検討いただきたいが、考えを伺う。

A 本年3月に滋賀県が策定した「大津港活性化・再整備基本構想」において、当該建設用地は「暮らす人と訪れる人の結節点である魅力を活かした高機能な空間づくり」を目指すエリアとして、その魅力と機能を磨く方針が示されたところである。

本市としては、まずは県などと策定を進めている「大津港活性化・再整備に係る施設整備等実施方針」などを踏まえ、大津港周辺におけるにぎわいの創出に向けた検討を進める中で、来訪が期待できるターゲット像などを想定しつつ、親和性のある観光コンテンツとの連携などを模索していく。

※他に1項目の質問あり。



川口 正徳 議員

子どもの権利条約について

Q 「大津市こども・若者支援計画」と、この度滋賀県において設置された「滋賀県子どもの権利委員会」との関係性をどのようにとらえ、取り組まれて行くのか。また、計画の各種取組が細分化されているがゆえに全体把握に時間を要するのではないかと危惧するが、取り組み状況と課題等を伺う。

A 滋賀県子どもの権利委員会が設置され、相談だけでは解決が難しい案件に対応できる窓口ができることについて、府内で周知を図った。今後、子どもの権利侵害に関する相談が寄せられた場合には、相談窓口の紹介や滋賀県子どもの権利委員会が行う調査等に協力する。また、大津市こども・若者支援計画については、関連する計画との整合を図りながら、部局間での緊密な情報交換と連携を行い、効率的かつ効果的に推進していく。今後も、多様化する子育て支援ニーズや、複雑化する子ども・若者の課題に適切に対応するため、部局横断的な取組みに努める。

※他に4項目の質問あり。

TOPICS

「湖都の葉マルシェ」開催

「文学のまち大津」ブランディング事業のキックオフイベントとして、「湖都の葉マルシェ」が令和7年11月15日に開催されました。

会場では、「文学作品のフリーマーケット」として、約100ブースが出店。出店者が自作した自由な表現で作る出版物、「ZINE（ジン）」等の販売が行われ、作品の作り手と読み手が直接繋がるイベントとなりました。また、直木賞作家と石山寺座主によるトークイベントの開催、大津市の文化財保護課の職員による大津城の調査状況などを紹介するブースや、約3,000冊の本の無料譲渡会なども行われ、幅広い層の多くの来場者で賑わいました。

